
宇 和 島 圏 域
定住自立圏共生ビジョン

(第 2 期)

- 令和 5 年度 実績報告
- 令和 6 年度 12 月末進捗報告

はじめに（定住自立圏構想とこれまでの流れ）

1. 定住自立圏構想

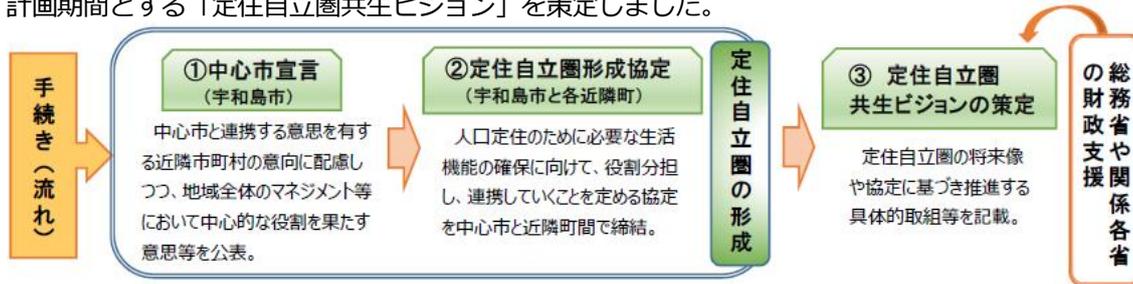
定住自立圏構想とは、圏域を構成する市町村や民間企業等が互いに役割を分担し、連携協力して圏域全体の活性化を図ろうとするもので、人口5万人程度以上の要件を満たす「中心市」が近隣市町村と協定を結び「定住」のための暮らしに必要な諸機能を総体として確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、圏域全体として魅力あふれる地域を形成していくことを目指すものです。



2. 定住自立圏の形成の流れ

平成28年6月に宇和島市が国の「定住自立圏構想推進要綱」に基づく「中心市宣言」を行い、それを受け、宇和島市を含む1市3町が「定住自立圏形成協定」を平成29年3月に締結しました。

その後、民間関係者で構成する「共生ビジョン懇談会」等を開催し、検討を重ね、平成30年度から5年間を計画期間とする「定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。



3. 定住自立圏共生ビジョン

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏構想推進要綱に基づき、定住自立圏形成協定の内容を踏まえ、地域の活性化と発展を図るため、適切に役割を分担しながら、圏域全体として目指すべき将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を示すものです。

(2) 圏域の名称・構成市町

名称は、「宇和島圏域定住自立圏」です。

構成市町は、宇和島市を中心市とし、松野町・鬼北町・愛南町の1市3町となっています。

(3) 定住自立圏共生ビジョンの期間

この定住自立圏共生ビジョン(第2期)の計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間となっております。

(第1期：平成30年度～令和4年度)

(4) 協定に基づき推進する具体的取組

構成市町が連携・協力し、4つの政策分野である「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「資源制約に対応するための圏域マネジメント等」「まち・ひと・しごと創生」から7分野18項目の事業に取り組みました。



4. 共生ビジョン懇談会・意見交換(懇談)会

(1) 共生ビジョン懇談会

要綱第6(2)(4)の規定に基づき、共生ビジョンの策定又は変更に当たっては、民間や地域の関係者を構成員として開催する協議・懇談の場である「共生ビジョン懇談会」における検討を経ることが必要です。

【令和5年度 構成員】委員19名、オブザーバー1名

分野	所属(団体)名	役職	備考
医療・病院等施設関係者	宇和島市病院局	医療行政管理部長	
	旭川荘南愛媛病院	院長	
福祉関係者	宇和島市社会福祉協議会	事務局長	
	松野町社会福祉協議会	事務局長	
	鬼北町社会福祉協議会	事務局長	
	愛南町社会福祉協議会	事務局長	
産業振興関係者	えひめ南農業協同組合	企画管理部長	
	宇和島市観光物産協会	総務部会長	
	愛南町観光協会	会長	
	宇和島商工会議所	事務局長	
	松野町商工会	会長	
	鬼北町商工会	事務局長	
	愛南町商工会	副会長	
地域公共交通関係者	宇和島自動車株式会社	業務部営業課長	
地域コミュニティ活動関係者	松野町区長会	区長会長	
教育関係者	道の駅 さいや広場	支配人	
	松野町教育委員会	教育長職務代理者	
	鬼北町教育委員会	教育委員	
	上大道公民館	館主	
	宇和島市教育委員会	学校教育課長	オブザーバー

(2) 共生ビジョン意見交換(懇談)会

要綱第6(7)の規定に基づき開催。共生ビジョンに関し意見交換を行うため、少なくとも一年に一回、圏域内の全ての市町長による懇談の場を設けるものとされています。

(3) 会の開催状況 ※共生ビジョン策定以後

年・月	会名	場所	協議事項
H30.11	平成30年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	書面開催	・平成30年度(上半期)実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 意見・提案なし
H31.3	平成30年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会	書面開催	・平成30年度(2月末)実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 提案1件
R元.10	令和元年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	宇和島市役所	・平成30年度末実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 提案1件
R2.2	令和元年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会	松野町町民センター	・平成30年度末・平成31年度(12月末)実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 提案3件

年・月	会 名	場 所	協議事項
R2.10	令和 2 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	きさいや 広場	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度末実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 提案 1 件 ・共生ビジョンの変更について
R3.2	令和 2 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度末・令和 2 年度（9 月末）実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 意見・提案なし ・共生ビジョンの変更について
R3.9	令和 3 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度末実施状況報告 ・新規事業について ⇒ 意見・提案なし ・共生ビジョンの変更について
R4.3	令和 3 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度末・令和 3 年度（12 月末）実施状況報告 ・新規事業について ⇒ ご意見 1 件 ・共生ビジョンの変更について
R5.3	令和 4 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	宇和島市 役所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度末実施状況報告 ・共生ビジョンの第 2 期更新について
R5.3	令和 4 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度末・令和 4 年度（10 月末）実施状況報告 ・共生ビジョンの第 2 期更新について
R6.3	令和 5 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	宇和島市 役所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度末実施状況報告 ・共生ビジョン（第 2 期）の変更について
R6.3	令和 5 年度 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度末・令和 5 年度（12 月末）実施状況報告 ・共生ビジョン（第 2 期）の変更について

定住自立圏共生ビジョンにおける具体的取組の実績報告

1. 共生ビジョンにおける具体的取組の実績報告について

定住自立圏の形成に関する協定書に基づき、各政策分野において推進する具体的取組事業における令和5年度の実績を報告します。

政策分野	分野(分類)	協定事項	取組事項	令和5年度		備考
				実施結果	評価判定	
(1) 生活機能の強化	ア 医療	高度医療・地域医療ネットワークの充実	①適正受診啓発事業	完了	A	
			②医療情報連携通信事業	完了	A	
			③看護師等人材確保促進事業	完了	B	
	イ 福祉	地域福祉の充実	④手話奉仕員等養成事業	完了	A/A	⇒総合 A
			⑤意思疎通支援共同実施事業	完了	A	
			⑥障がい者(児)総合支援推進事業	完了	A	
			⑦広域版地域包括ケアシステム構築事業	完了	A	
	ウ 教育	教育環境の充実 生涯学習の充実	⑧成年後見制度利用促進事業	完了	A/A	⇒総合 A
			⑨不登校児童生徒支援事業	完了	A	
	エ 産業振興	商工業の活性化と雇用の創出	⑩図書館利用促進事業	完了	B	
⑪創業・就業支援事業			完了	A		
(2) 結びつきやネットワークの強化	ア 道路等の交通インフラの整備	道路交通網の整備	⑫国道 56 号一本松・宇和島間整備促進事業	完了	A	
(3) 圏域マネジメントの強化	ア 宣言中心市等における人材の育成	人材の育成・交流	⑬職員合同研修事業	完了	A	
			⑭地域おこし協力隊合同研修事業	中止	D	事前打合せ有
(4) まち・ひと・しごと創生	ア 総合戦略の推進	総合戦略の推進	⑮移住・定住促進事業(移住フェア開催)	完了	A	
			⑯出合いの場創出事業(婚活イベント開催)	完了	C/C	⇒総合 C
			⑰結婚支援事業	完了	C	
			⑱児童魅力発信事業	完了	A	

- ① 各事業の実施状況の詳細については、次ページ以降に掲載しております。
- ② 重要業績評価指標(KPI)については、共生ビジョン(第2期)更新後の目標値により評価しております。
- ③ 評価規準については、P18 を参考にしてください。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

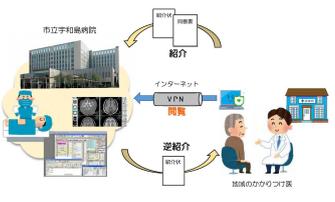
ア 医療

【3項目】

① 適正受診啓発事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町					
事業概要	宇和島圏域の健全な医療体制を維持するため、圏域の医療機関の機能・役割分担を周知する啓発チラシ等を作成するもの。						
効果	圏域住民の医療機関に対する適正受診につなげ、二次・三次救急医療機関の負担を軽減することで、圏域の救急医療体制を維持することができる。						
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
	400	400	400	400	400	2,000	
実施状況							
令和5年度実施結果	事業費(千円)	167(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島 113 松野 6 鬼北 16 愛南 32				
	圏域の医療機関の機能・役割分担を周知する啓発チラシ等を作成のうえ配布し、宇和島圏域の健全な医療体制の維持を図った。 ○啓発資料発行数：55,000枚 (宇和島 36,000 松野 2,500 鬼北 5,500 愛南 11,000)						
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価			
	医療機関の機能・役割等の周知の実施。	周知の実施1回以上/年	1回実施/年	A			
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R5年度現状値	R5年度評価見込			
	3月実施に向けて準備中。		-	-			

② 医療情報連携通信事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町					
事業概要	南予地域医療連携ネットワークシステム(きさいやネット)への加入促進とともに機能の充実を図ることによって、圏域住民に対し一貫した治療方針の下に切れ目のない医療体制を構築する。						
効果	医療情報のネットワーク化により地域医療の質の向上及び圏域住民へ効率的な医療の提供が可能となる。						
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	11,500	
実施状況							
令和5年度実施結果	事業費(千円)	2,328(実績)	※事業費構成(実績) 宇和島 2,328 松野 0 鬼北 0 愛南 0				
	<ul style="list-style-type: none"> ・システム再設定やシステムメンテナンス時に利用機関を訪問し、利用者に対し、システム利用時の注意点等について再説明を実施。(令和5年度：11医療機関訪問) ・きさいやネット利用者に対し、セキュリティ研修を実施した。 ・令和2年12月より、保守契約を病院基幹システムと一体化。 ・令和5年度新規加入医療機関等3件 ・令和5年11月19日、パフィオ宇和島にて開催された当院主催の市民公開講座において、きさいやネット担当者が、「南予地域医療連携ネットワークシステム(きさいやネット)について」という演題で講演を実施。 						

重要業績評価指標 (KPI)	指 標	目 標 値	当該年度実績値	当該年度実施評価
	きさいやネット同意者数	3,300 人/年	4,112 人/年	A
令和 6 年度 実 施 状 況	実施状況 (令和 5 年 12 月時点)		R6 年度現状値	R6 年度評価見込
	R5～参加医療機関数から同意者数に目標値変更。 市民公開講座で講演、セキュリティ研修、啓発活動等。		人/年	-

③看護師等人材確保促進事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	圏域内にて保健師助産師看護師法に基づき指定を受けた看護専門学校又は養成所等に対し運営費等を支援する。					
効 果	高齢化社会において保健医療を担う看護師等の確保が図れる。					
事業費見込 (千円)	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	合 計
	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500
実 施 状 況						
令和 5 年度 実 施 結 果	事業費 (千円)	12,619 (実績)	※事業費内訳 (実績) 宇和島 12,619 松野 0 鬼北 0 愛南 0			
	「宇和島看護専門学校」に対し運営費支援を行うとともに、市町の看護求人情報等を専門学校へ周知し、圏域病院への看護師確保を図った。 ○R5 圏域内病院への就職者数 宇和島 13 人 ※屋上防水工事の実施による修繕費の増加に伴い、事業費が増加。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標	目 標 値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	該当学校からの看護師等の 圏域内病院への就職者数	15 人以上/年	13 人/年	B		
令和 6 年度 実 施 状 況	実施状況 (令和 6 年 12 月時点)		R6 年度現状値	R6 年度評価見込		
	宇和島看護専門学校補助金 3,209 千円を交付済み。 生徒募集記事を広報・HP へ掲載予定。		-	-		

④手話奉仕員等養成事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	意思疎通に支障のある聴覚障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、手話で日常生活を行うのに必要な手話表現技術を習得し、奉仕員等として活動できる人を養成するための講座を開催する。					
効果	共同で開催することにより、受講対象者の範囲が広がり、多くの手話奉仕員等の確保が可能となるとともに専門性の向上を図ることができる。					
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	390	390	390	390	390	1,950
実施状況						
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	380(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島194 松野62 鬼北62 愛南62			
	奉仕員等として活動できる人を養成するための圏域手話奉仕員養成(入門・基礎)講座を開催。 ○講座受講者数：33人(従来定員で募集)／奉仕員等登録者数：24人 (宇和島31 松野0 鬼北2 愛南0) (宇和島20 松野0 鬼北1 愛南3)					
	【入門講座42時間(全21回)】 ・時間：13:30～15:30 ・主会場：宇和島市総合福祉センター2階研修室					
	日程	内容	日程	内容		
	6月3日	開講式・伝え合ってみましょう	9月2日	一日のことを話しましょう		
	6月11日	伝え合ってみましょう	9月9日	一か月のことを話しましょう		
	6月17日	名前を紹介しましょう	9月30日	一年のことを話しましょう		
	6月24日	家族を紹介しましょう	10月7日	パーティーのことを話しましょう		
	7月1日	数を使って話しましょう	10月21日	パーティーのことを話しましょう		
	7月8日	趣味について話しましょう	10月28日	講義：聴覚障がい者の生活		
7月17日	講義：手話の基礎知識	11月11日	病院のことを話しましょう			
7月29日	仕事について話しましょう	11月18日	学校のことを話しましょう			
8月5日	住所を紹介しましょう	11月25日	職場のことを話しましょう			
8月19日	講義：聴覚障がいの基礎知識	12月2日	まとめ(選択学習)、閉講式・交流会			
8月26日	まとめ					
【基礎講座50時間(全25回)】 ・時間：19:30～21:00 ・主会場：宇和島市総合福祉センター2階研修室						
日程	内容	日程	内容			
5月13日	表情豊かに、具体的に①表情・強弱	8月26日	両手や指をうまく使いましょう①			
5月20日	表情豊かに、具体的に②具体的表現	9月2日	講義：ボランティア活動			
5月27日	表情豊かに、具体的に③まとめ	9月9日	両手や指をうまく使いましょう②			
6月3日	19から21講座の復習 まとめ	9月30日	繰り返しの表現			
6月10日	講義：障がい者福祉の基礎	10月7日	意味にあった手話			
6月17日	主語を分かりやすく①位置方向-1	10月21日	まとめ			
6月24日	主語を分かりやすく②位置方向-2	10月28日	基本文法のまとめ1			
7月1日	主語を分かりやすく③格の変換	11月11日	基本文法のまとめ2			
7月8日	主語を分かりやすく④指さし	11月18日	ろう者の手話スピーチを見ましょう			
7月17日	まとめ	11月25日	みんなで話し合ってみましょう			
7月29日	講義：聴覚障がい者の活動と福祉制度	12月2日	まとめ(選択学習)			
8月5日	空間をうまく使いましょう①	12月9日	閉講式・交流会 ろう者と話し合ってみましょう			
8月19日	空間をうまく使いましょう②					
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	講座受講者数	25人/年	33人	A		
	奉仕員等登録者数	13人/年	24人	A		
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	宇和島圏域にて手話奉仕員養成講座を実施。(入門講座21回、基礎講座25回)		講座 27人/年	A		
			奉仕員 24人/年	A		

⑤意思疎通支援共同実施事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町					
事業概要	意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に、手話通訳・要約筆記によって、障がい者等とその他の人の意思疎通を支援するために宇和島市が実施している手話通訳者及び要約筆記者派遣事業を関係市町で共同実施するもの。						
効果	共同で実施することにより通訳者の確保も広域で行うことができ、効率的な派遣体制の整備を行うことができる。また広域による取組により、事業に携わる通訳者の増加が見込まれ、人材育成の面でも効果が期待でき安定的な支援体制の強化を図ることができる。						
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
	6,118	6,118	6,118	6,118	6,118	30,590	
実施状況							
令和5年度実施結果	事業費(千円)	5,776(実績)		※事業費内訳(実績) 宇和島5,680 松野2 鬼北0 愛南94			
	効率的な派遣体制を確保するとともに、安定的な支援体制の強化を図るため、圏域内の手話通訳者及び要約筆記者派遣事業を関係市町で共同実施している。 ○手話通訳者等の派遣回数 569回(宇和島537 松野1 鬼北0 愛南31)						
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価			
	手話通訳者等の派遣回数	450回/年	569回/年	A			
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)			R6年度現状値	R6年度評価見込		
	手話通訳者等の派遣回数360回。 (宇和島市329回、愛南町31回)			360回	B		

⑥障がい者(児)総合支援推進事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町					
事業概要	圏域の社会資源の整理を行い、地域活動支援センター等の既存施設の広域利用や、地域生活支援拠点基幹相談支援センター等の中核となる拠点施設の整備についての検討を行い、総合的な支援体制の強化を図る。						
効果	共同で実施することで施設の有効利用を促進することや安定的な運営を行うことができ、サービスの充実を図ることができる。また、専門職員の確保による専門性の強化、人材確保、安定的な支援体制の整備も見込める。 社会資源が限られる中、圏域が一体となって必要とされる拠点施設等の効率的な整備・運用を目指す。						
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
	400	400	400	400	400	2,000	
実施状況							
令和5年度実施結果	事業費(千円)	- (実績)		※事業費内訳(実績) 宇和島- 松野- 鬼北- 愛南-			
	令和5年8月に障がい者相談支援事業に関する担当者会を実施した。 ・基幹相談支援センターの設置について ・相談支援体制について						
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績	当該年度実施評価			
	支援体制の強化に向けた協議	年1回以上開催	1回開催/年	A			
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)			R6年度現状値	R6年度評価見込		
	10月に障がい者相談支援事業に関する会議を開催。			1回開催	A		

⑦広域版地域包括ケアシステム構築事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を圏域内で推進するもの。					
効果	医療介護連携については市町単位での検討と合わせて広域での仕組み作りも必要とされており、関係市町が連携協議しながら仕組みを構築することで、圏域の高齢者の重層的な支援が可能となる。					
事業費見込 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	800	800	800	800	800	4,000
実施状況						
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	215(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島215 松野0 鬼北0 愛南0			
	1市3町での合同研修会を開催予定として、医師会と自治体が協働する在宅医療・介護連携推進事業の進め方を習得するため、在宅医療介護連携推進事業定住自立圏合同研修会を令和6年2月10日(土)にコスモスホール三間で開催。 参加者：71名					
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	合同研修会の実施	年1回以上開催	1回/年開催	A		
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	在宅医療介護連携推進のための合同研修会を令和6年11月1日に開催。		1回/年開催	A		

⑧成年後見制度利用促進事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	圏域の高齢者や障がいのある方が、本人にとって最適な権利擁護支援を受けられるよう、成年後見制度に関する二次相談や後見人活動の支援等を行う中核機関を設置し、制度の利用促進及び適切な運用を図る。					
効果	自らが判断し意思決定することが困難な、圏域の認知症高齢者や知的および精神上の障がいのある方が、住み慣れた地域で本人に適した生活が継続できる。					
事業費見込 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	90,000
実施状況						
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	18,000(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島9,150 松野2,188 鬼北2,804 愛南3,858			
	住民が必要に応じて成年後見制度を利用できる仕組みづくりを進めるとともに、適切に権利擁護支援を受けられるネットワークづくりを行うことで、住民が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを行った。 また、専門職団体・関係機関との連携を図り、地域における重層的な権利擁護支援体制を構築することで制度の利用を促進した。					
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	市町担当部署への定期巡回	12回/年	18回/年	A		
	権利擁護支援に関する広報活動	20回以上/年	32回/年	A		
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	地域連携ネットワーク会議(市町会議)を年4回実施し、課題を共有し連携強化に努めた。		巡回 14回	A		
			広報 18回	B		

ウ 教育

【2項目】

⑨不登校児童生徒支援事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	宇和島市の児童生徒支援施設「宇和島市子ども支援教室わかたけ」について、受入れ対象地域を本圏域まで拡大し、圏域在住の児童生徒も利用できるようにするもの。					
効果	受入れ対象地域を拡大することにより、これまで施設を利用することができなかった宇和島市以外の圏域内児童生徒にも自立のための支援を行うことができるようになり、学校復帰のチャンスを高めることができる。					
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	18,535	18,535	18,535	18,535	18,535	92,675
実施状況						
令和5年度実施結果	事業費(千円)	15,221(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島 12,661 松野 499 鬼北 993 愛南 1,068			
	「宇和島市子ども支援教室わかたけ」の受入れ対象を圏域内児童まで拡大し、施設を運営。 ○利用児童数：23人(宇和島 21 松野 0 鬼北 1 愛南 1) ○復帰・改善した児童数：13人(宇和島 12 鬼北 0 愛南 1)					
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	復帰・改善がみられた児童・生徒の割合	復帰・改善の割合 50%	57%	A		
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	利用児童生徒数：20人 復帰・改善した児童生徒数：12人		60%	A		

⑩図書館利用促進事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	宇和島市立図書館及び宇和島市電子図書館の圏域住民に対する利用促進を図る。将来的には圏域内の図書館(図書室)を圏域住民が相互に利用できるよう検討していく。					
効果	圏域内で唯一の公立図書館である宇和島市立図書館の利便性向上を図ることで、圏域住民の生涯学習の推進に寄与する。					
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	200	200	200	200	200	1,000
実施状況						
令和5年度実施結果	事業費(千円)	200(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島 200 松野 0 鬼北 0 愛南 0			
	「宇和島市立図書館」を圏域内住民まで拡大(宇和島市への通勤・通学者以外も利用可能とする)し運営。 ○拡充のための図書の購入数：105冊 ○3町登録者数：1,735人(令和5年度末) ※令和4年度末 1,658人 (松野 389、鬼北 985、愛南 361 参考：宇和島 34,000) ⇒ 4%増加/年(77人増加/年)					
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	市立宇和島図書館における3町の新規登録件数	3町の新規登録 100件以上/年	77件/年	B		
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	R5～各年10%登録増から各年100件登録に指標変更。図書の購入を実施。3町登録者数：1,721人。		46件/年	C		

⑪創業・就業支援事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町					
事業概要	国の認可を受けた「創業支援事業計画」に基づき、連携して圏域内の創業支援を行っていくもの。具体的には、創業セミナーや創業相談窓口の設置を行い、創業者の掘り起こしを図る。						
効果	圏域内での創業環境が整備されることにより、創業しやすい環境作りが図られる。結果、圏域内の事業者数低下に歯止めがかかることが期待でき、就業や収入確保の場が保たれる。						
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	13,500	
実施状況							
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	2,691(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島2,691 松野0 鬼北0 愛南0				
	起業(創業)支援セミナーを開催することで、創業の活性化及び事業者の経営力向上を図り、地域経済を振興する。 【起業セミナー】(6回) ○参加者:延べ参加者数 122人(宇和島116、松野0、鬼北6、愛南0) ○内容:創業に必要不可欠な知識全般をわかりやすく習得するとともに、「マーケティング」「雇用手続き」「事業成長のポイント」など、経営についての具体的なノウハウやスキルを身につける実践的なセミナー。						
		日程	テーマ				
		10月17日	起業の全体像・ポイント				
	10月25日	マーケティング					
	10月31日	チームづくり・雇用手続き					
	11月8日	収支計画等					
	11月13日	税務経理・手続き・資金調達					
	11月28日	事業成長のポイント					
	創業者創出数 16人(宇和島15、松野1、鬼北0、愛南0)				【セミナーのチラシ】		
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価			
	創業者創出数	16人/年	16人/年	A			
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込			
	創業相談窓口での創業者の掘り起こしの実施。創業支援セミナー(7回)を実施。		13人	B			



(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 道路等の交通インフラの整備

【1項目】

⑫国道 56 号一本松・宇和島間整備促進事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、愛南町				
事業概要	宇和島市と愛南町の2市町で設立している「国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会」により、愛媛県とも連携をとりながら、四国横断自動車道「津島道路」・「宿毛内海道路」の整備推進並びに未着手区間(一本松～御荘)の早期事業化の推進、また国道56号等日常生活で不可欠な主要幹線道路の整備推進のため要望活動を行う。					
効果	四国横断自動車道の更なる延伸や国道等の主要幹線道路の整備推進により、交通の安全性や利便性の向上を図り、宇和島圏域の発展に繋がる。					
事業費見込 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	250	250	250	250	250	1,250
実施状況						
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	250(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島195 愛南55			
	四国横断自動車道「津島道路」・「宿毛内海道路」の整備推進、また国道56号等日常生活で不可欠な主要幹線道路の整備推進要望活動を実施。					
	日程	要望先				
	7月5日	愛媛県知事(松山市)				
	7月6日	国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所長(大洲市)				
	7月12日	国土交通省四国地方整備局長(高松市)				
8月3日	国土交通省、財務省、県選出国會議員(東京都)					
○当協議会による道路要望回数(令和5年度) 4回						
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	当協議会による道路要望回数	4回以上/年	4回/年	A		
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	要望活動4回実施。(愛媛県知事、大洲河川国道事務所長、四国地方整備局長、国土交通省、財務省ほか)		4回	A		

(3) 資源制約に対応するための圏域マネジメント等に係る政策分野

ア 宣言中心市等における人材の育成(デジタル人材その他の専門人材の育成を含む。)【2項目】

⑬職員合同研修事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	関係市町職員の能力向上を図るため合同研修を実施するもの。 なお、研修内容等に関しては関係市町の意見を踏まえて決定する。					
効果	合同研修により、職員の圏域における政策能力等の向上が期待できる。					
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	300	300	300	300	300	1,500
実施状況						
令和5年度実施結果	事業費(千円)	- (実績)		※事業費内訳(実績) 宇和島- 松野- 鬼北- 愛南-		
	政策形成の向上を目的に「政策形成能力向上」をテーマに圏域の1市3町の職員が参加する合同研修を実施した。 研修終了後に回収した参加者アンケートでは、9割以上の参加者が「今後仕事をしていく上で役立つ」との回答を得ており、研修目的を果たしていると考えられる。 ○参加者：26名(宇和島11名、松野3名、鬼北6名、愛南6名)					
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値		当該年度実績値	当該年度実施評価	
	合同研修の開催	1回以上/年		1回/年	A	
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)			R6年度現状値	R6年度評価見込	
	令和6年10月に「情報化アシスト研修」を開催。 (宇和島13名、松野4名、鬼北0名、愛南3名)			1回	A	

⑭地域おこし協力隊合同研修事業

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	地域おこし協力隊OBや地域活性化に特化した人材等を講師として招き、圏域の地域おこし協力隊が合同で研修を実施するもの。講師から助言をいただきながら自身の活動内容を振り返り、今後の活動の展開・任期満了後の身の振り方を整理するとともに、圏域内の協力隊同士の交流促進も図る。					
効果	合同で実施することにより、効率的に研修を進められるとともに、各圏域内の協力隊の交流と政策能力等の向上が期待できる。					
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	140	140	140	140	140	700
実施状況						
令和5年度実施結果	事業費(千円)	2(実績)		※事業費内訳(実績) 宇和島2 松野0 鬼北0 愛南0		
	各圏域内の協力隊の交流と政策能力等の向上を図ることを目的に、圏域の合同研修会実施に向けて、自治体担当者による協議を行ったが、研修会の内容や日程の調整がつかず、研修会の開催には至らなかった。 ※事前協議の開催状況 【第1回】日程：令和5年12月20日(水)、開催方法：オンライン 参加者：地域おこし協力隊員及び自治体担当職員、講師候補 【第2回】日程：令和6年3月22日(金)、開催場所：warmth(鬼北町) 参加者：自治体担当職員					
重要業績評価指標(KPI)	指標	目標値		当該年度実績値	当該年度実施評価	
	合同研修の開催	1回以上/年		未開催	D	
令和6年度実施状況	実施状況(令和6年12月時点)			R6年度現状値	R6年度評価見込	
	前年度から開催内容について協議を重ね、令和6年10月4日に合同研修会開催。			1回	A	



【過去研修会の状況】

(4) まち・ひと・しごと創生に係る政策分野

ア 総合戦略の推進

【4項目】

⑮移住・定住促進事業（移住フェア開催）

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	都市部での移住フェア開催に関し、愛媛県とも連携を図りながら、宇和島圏域単独での移住フェアを開催し、より可能性の高い移住希望者の獲得を図る。					
効果	これまで単独で行ってきた都市部での移住フェア開催を、同じ自然や文化を持ち繋がり深い宇和島圏域として連携し開催することで、個々が持つ魅力や特色の幅を広げ、より強力的に田舎の良さをPRできる。					
事業費見込 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
実施状況						
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	1,300(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島693 松野215 鬼北165 愛南227			
	<p>令和5年度はフェアの内容を大幅に見直し、小規模かつ4市町連携という特性を生かして、市町別相談ブースの設置を取りやめ座談会形式に変更。周知面においても、子育て世帯を意識したチラシデザインにリニューアルした。</p> <p>当日は9組13名が来場。来場者の満足度も高く、市町担当者同士の連携も深めることができた。</p>					
						
○移住相談窓口を介し移住した移住者(組)数(令和5年度) 67名(45組)(宇和島16(9) 松野39(29) 鬼北5(2) 愛南7(5))						
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	移住相談総合窓口を介し移住した移住者(組)数	30組/年	45組/年	A		
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	愛媛県主催移住フェアにおいて4市町で連携。		22組	B		

⑩出会いの場創出事業（婚活イベント開催）

事業の計画内容		【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町				
事業概要	圏域の魅力的な資源を活用するとともに、民間の感性を取り入れた婚活イベントを実施する。					
効果	圏域が持つ地域の魅力を活用し、男女の出会いの場を提供するとともに、宇和島圏域を広くPRすることが出来る。					
事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
実施状況						
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	1,300(実績)	※事業費内訳(実績) 宇和島1,000 松野100 鬼北100 愛南100			
	圏域の魅力的な資源を活用した婚活イベントを2回実施。 委託先：(一社)愛媛県法人会連合会 えひめ結婚支援センター					
	第1回 うわじま恋結び in 森のカフェ(愛南町)					
	日時	令和5年10月14日(土) 10:30~16:00				
	場所	ゆらり内海・須ノ川公園(愛南町須ノ川288)				
	参加人数	男性10名/女性5名 計15名 (宇和島市5名/松野町0名/鬼北町3名/愛南町3名/市外4名)				
	内容	ランチ・グランピング・カフェタイム				
	カップル成立	2組				
	第2回 うわじま恋結び~美食ランチとパールブレスレット~(宇和島市)					
	日時	令和6年2月17日(土) 11:00~15:30				
場所	パフィオうわじま(宇和島市鶴島町8番3号)					
参加人数	男性11名/女性12名 計23名 (宇和島市11名/松野町2名/鬼北町1名/愛南町3名/市外6名)					
内容	ランチ・パールアクセサリーWS・スイーツ					
カップル成立	4組					
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価		
	婚活イベント参加者数	60人/年	38人/年	C		
	婚活イベントを介し、成立したカップル組数	10組/年	6組/年	C		
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)		R6年度現状値	R6年度評価見込		
	婚活イベントの開催(全2回中、1回実施済)。		21人	C		
			5組	C		



⑰結婚支援事業

事業の計画内容							【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町						
事業概要	うわじまMIセンター運営要綱に基づき設置する結婚推進員を3町まで拡大設置し、イベント等も実施しながら、宇和島圏域全体で結婚の推進と、結婚に関する機運の醸成を図る。												
	宇和島市を中心に本圏域まで範囲を広げ連携することで、より多くの出会いの機会と、お引き合わせの増加が見込まれ、成婚が増えることで人口減少対策の一助となることが期待できる。												
	事業費見込(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	810	1,040	1,040	1,040	1,040	4,970
実施状況													
令和5年度 実施結果	事業費(千円)	449(実績)			※事業費内訳(実績) 宇和島449 松野0 鬼北0 愛南0								
	結婚推進委員を圏域まで拡充のうえ、委員24人(うち松野町2名、鬼北町1名・愛南町1名)により運営し、圏域全体での結婚支援の推進を図っている。												
	【うわじまMIセンターの概要】												
	項目	内容											
	ご相談	結婚相談員がご相談に応じる。											
	会員登録	会員に登録できる方は結婚を希望する50歳までの独身男女。(入会金、年会費等無料)											
	お相手探し	登録すれば、異性登録者のプロフィールを閲覧できる。(登録者の中からお相手探しのお手伝いする)											
	お見合	お相手が了承すれば、お見合が成立。(相談員またはボランティアの結婚推進委員立会いのもと、お見合をする)											
	ご交際	お付き合いが始まった後もセンターがサポートする。											
	○引き合わせ58組 (引き合わせ男女116人(宇和島80名 松野0名 鬼北9名 愛南6名 他21名))												
重要業績評価 指標(KPI)	指標	目標値	当該年度実績値	当該年度実施評価									
	当該事業による圏域全体での引き合わせ組数	80組/年	58組/年	C									
令和6年度 実施状況	実施状況(令和6年12月時点)			R6年度現状値	R6年度評価見込								
	男女の引き合わせ(相談員または結婚推進委員立会いのお見合)を実施。			52組	C								



⑱ 児童魅力発信事業

事業の計画内容							【関係市町】宇和島市、松野町、鬼北町						
事業概要	地域の宝である子ども達に圏域の良さを伝え、誇りに思う気持ちを育てるとともに、圏域の魅力を情報発信できる子どもたち（子ども観光大使）を育てる事業を実施するもの。												
効果	子どもたち自身が体験し、その魅力を県内外で発信することによる本圏域のPR効果と、ふるさとに愛着を持ち、将来の定住促進に繋がる可能性が期待できる。												
事業費見込（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計							
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000							
実施状況													
令和5年度 実施結果	事業費（千円）	1,000（実績）		※事業費内訳（実績） 宇和島 700 松野 100 鬼北 100 愛南 100									
	圏域の魅力を体験学習通じて、学び・発信できる子どもを育て、また郷土愛と誇りを醸成する「うわじま圏域観光大使事業」を実施している。												
	【事業の概要】（令和5年度）												
	日程	内容			会場（地域）			参加数					
	4月22日	開校式・田植え			宇和島市			30人					
	5月20日	カツオのたたきづくり			愛南町			22人					
	6月3日	泉貨紙張り子作り①			鬼北町			20人					
	6月10日	養殖魚について学ぼう			宇和島市			22人					
	6月17日	じゃこ天づくり			宇和島市			26人					
	7月17日	マダイ稚魚放流			宇和島市			22人					
7月27日	キャニオニング			松野町			24人						
8月14日	闘牛			宇和島市			23人						
8月15日	河内晩柑			愛南町			15人						
8月16日	泉貨紙張り子作り②			鬼北町			18人						
9月2日	稲刈り			宇和島市			29人						
9月9日	皮むき間伐			宇和島市			18人						
10月8日	真珠玉出しとアクセサリー作り			宇和島市			16人						
10月14日	鯛一郎クン養殖場見学			宇和島市			16人						
10月21日	馬と触れ合い			鬼北町			15人						
10月28日	柚子収穫手伝い			鬼北町			13人						
11月3日	松野黄金芋収穫			松野町			13人						
11月18日	みかん狩り			宇和島市			13人						
12月3日	鯛めし作り			宇和島市			17人						
1月14日	家藤正人さんによる句会ライブ			宇和島市			28人						
1月27日	ブラッドオレンジ収穫手伝い			宇和島市			14人						
2月17日	認定式			宇和島市			15人						
													
【子ども観光大使認定人数】40人（児童内訳：宇和島31人、鬼北2人、松野2人、愛南5人）													
重要業績評価 指標（KPI）	指標	目標値		当該年度実績値			当該年度実施評価						
	うわじま圏域子ども観光大使認定人数	40人/年		40人/年			A						
令和6年度 実施状況	実施状況（令和6年12月時点）			R6年度現状値			R6年度評価見込						
	全20回のうち15回まで終了。 （2月に認定式を実施予定）			43人			A						

2. 共生ビジョンの進捗管理等について

(1) 進捗管理について

定住自立圏共生ビジョンで提示したとおり、進捗管理については、各年、行うこととしており、その中で、設定した成果指標（KPI）をもとに事業の検証と検討を行ってまいります。

なお、事業の検証については、下記の評価基準のとおり事業の評価を行います。

【評価の基準】

判定	内容	備考
A	予定どおり事業を実施（完了）し、十分な成果が達成されている。	達成率 100%超
B	一部課題があるものの、概ね予定どおり成果が達成されている。	達成率 75%以上 100%未満
C	事業は実施しているが、成果が達成されていない。	達成率 75%未満
D	予定していた事業が実施されていない。	未実施

(2) 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会について

上記(1)については、各年、「宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会」へ報告のうえ、時代のニーズや社会情勢の変化に応じて、委員の意見を幅広く反映したうえで、事業の新設・変更（拡充）・廃止等を行って参ります。